

館山市における森林環境譲与税の使途（令和5年度決算）

事業名	事業総額（単位：千円）			当年度基金への 積立額 （単位：千円）	事業内容等	実績並びに税導入の効果
		うち森林環境 譲与税	うち他の財源			
森林クラウド年間利用料	84	84	0	—	県、市町村及び林業事業者が保有する森林関連情報を森林クラウドに集積し、情報活用を図った。	森林クラウドにより、森林関係情報をリアルタイムで活用することができた。
千葉県森林経営管理協議会負担金	86	86	0	—	千葉県森林経営管理協議会への参加により、効率的な事業の推進を図った。	協議会への参加により、業務の省力化及び効率化が図られた。
森林環境整備事業補助金	100	100	0	—	自然災害や病害虫による被害から森林機能の保全を図るための補助事業を実施した。	危険木等の撤去 1件
館山中学校整備費	336,623	7,720	328,903	—	館山中学校の建築工事に際し、構造材の一部に国産材を使用し、木材利用の促進を図った。	館山中学校 武道場 木材使用量 165.9m ³ (うち国産材31.2m ³)
合計	336,893	7,990	328,903	—	—	—

- 館山市では、「館山市の公共建築物等における木材利用促進方針」に基づき、森林環境譲与税を活用しながら、公共建築物における国産材の利用に努め、木材利用の促進を図っていく方針である。
- 館山中学校（武道場）の建築工事に際し、構造材の一部に国産材を活用した。

□ 事業内容

公共施設における木材利用

- ・ 館山市では、令和4年度から令和5年度にかけ、館山中学校の武道場（木造）を新たに建設。

【事業費】 336,623千円（うち譲与税7,720千円 ※令和5年度分）
（譲与税は、国産材に係る材料費の一部に充当）

【実績】 館山中学校 武道場
木材使用量 165.9㎡（うち国産材31.2㎡ ※令和5年度分）



（外観）



（内観:玄関）



（内観:剣道場）



（内観:武道場）

□ 取組の背景

- ・ 令和3年4月に旧第二中学校と旧第三中学校を統合し、開校した館山中学校の新たな武道場として建設。

【新館山中学校校舎及び武道場建設工事】

□ 工夫・留意した点

- ・ 武道場（剣道・柔道）という性質から、木の柔らかさを重視し木造を採用。併せて、内装の木質化を図った。
- ・ 構造材については、可能な部位に国産材を活用した。

□ 取組の効果

- ・ 学校生活の身近に、木材を利用した空間がある事で、若い世代の木への関心に繋がる事を期待する。
- ・ 「館山市の公共建築物等における木材利用促進方針」に基づく、木材利用の取組促進に繋げていきたい。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：7,990千円	②私有林人工林面積（※1）：720ha	
③林野率（※1）：43.4%	④人口（※2）：45,153人	⑤林業就業者数（※2）：7人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より